

MAKE NEW

東海国立大学機構 機構長あいさつ

2020年4月、岐阜大学と名古屋大学の2大学が法人統合し「国立大学法人東海国立大学機構」がスタートしました。これまでの教育・研究を軸とした各大学の活動を基盤としながら、東海国立大学機構として一丸となり、東海地域における地域創生の中核拠点として、持続的発展が可能な社会の構築へ向けた活動を進めていきます。環境問題解決やSDGs達成に向けた取組、新型コロナウイルス感染症への対応や新しい大学の在り方の議論なども、両大学で協働して進めています。

カーボン・ニュートラル達成に向けた挑戦として、全国の大学が、国・自治体・企業などと連

携強化を進める連合体「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」が立ち上がりました。東海国立大学機構もこれに積極的に参加し、東海地域における大学・産業界・地域発展の好循環モデル「TOKAI-PRACTISS」構想に基づく活動を開始しました。両大学の強みを最大限に活用しながら、環境人材の育成、ゼロエミッション達成に向けた活動、自治体の脱炭素化支援、産学連携による社会実装、そして、これらの情報発信と国際的展開に積極的に貢献していきます。

法人統合に伴い、環境報告書は今年から東海国立大学機構として発行します。この「東海国



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



STANDARDS.

立大学機構環境報告書2021」では、カーボン・ニュートラルの達成に向けた活動のほか、環境保全からジェンダー平等の実現に向けた活動まで、幅広い環境活動について紹介しています。

デジタル革命や科学技術イノベーションに伴って変革を続ける社会において、大学が果たすべき役割も刻々と変化しています。新たな大学モデルの構築に向けて、東海国立大学機構はチャレンジを続けていきます。

2021年8月

東海国立大学機構 機構長

松尾 清一



TOKAI NATIONAL
HIGHER EDUCATION
AND RESEARCH



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立大学機構

